

# 埼玉トヨペット Green Brave

2015年8月1日(土)・2日(日)

スーパー耐久シリーズ 2015 第4戦 TKU SUPER TAIKYU RACE in AUTOPOLIS オートポリス (大分県日田市)

8月20日(木)

S耐 - 030

Super  
Taikyū

## RACE REPORT

### 全員で戦ってつかんだ初勝利!

8月1日~2日、大分県日田市のオートポリス(1周4,674m)でスーパー耐久シリーズ2015の第4戦(3時間レース)が行われ、予選3位からスタートした#52 埼玉トヨペット Green Brave(番場 琢/服部尚貴/平沼貴之)は、トップを走る#86 TOYOTA Team TOM' S SPIRIT 86を終盤に抜き去り初優勝。チーム結成から僅か3シーズン目での快挙で、ポイントランキングでも2位以下を引き離し、首位をキープした。

### 得意なコースで予選3位! 今季最大のチャンス到来

第3戦富士で濡れた路面に苦戦しながらも4位に入賞し、15ポイントをもぎ獲った埼玉トヨペット Green Brave。スーパー耐久参戦以来初となるポイントリーダーに浮上し第4戦オートポリスを迎えた。オートポリスは昨年11月に最終戦として行われ、自社チーム初となる2位表彰台を獲得した相性の良いサーキット。真夏の開催となったことで、86有利の状況が変わるのが唯一の心配事であったが、エンジニアの表情を見る限りその心配は無用のようだ。予選日の天候は晴れ。猛暑の中での予選となった。Aドライバー番場選手、Bドライバー服部選手がそれぞれ20分のタイムアタックを行い、両選手の合算タイムで予選の順位を決める。番場選手はコースの混雑状況を冷静に見極め、終盤にコースイン。3番手タイムとなる2分05秒878をマーク。服部選手はコースオープン直後からアタックを行い、2分06秒384をマークし、4番手に。合算タイム4分12秒262で予選3位という絶好のポジションについた。Cドライバー平沼選手は2分09秒179と1年振りに走るオートポリスのコースに苦戦するも、決勝レースに向けて走り込みを行った。



決勝結果(ST-4クラス)

#52 埼玉トヨペット Green Brave  
(番場 琢/服部尚貴/平沼貴之)

決勝:1位(83周、3時間01分44秒686)

予選:3位(合算タイム4分12秒262)



ST-4クラス決勝結果

1位: 埼玉トヨペット Green Brave

(TOYOTA 86) 83周

2位: TOYOTA Team TOM' S SPIRIT 86

(TOYOTA 86) 83周

3位: ENDLESS・ADVAN・86

(TOYOTA 86) 83周

天候: 晴 路面: ドライ 出走: 17台

ST-4クラスポイントランキング(第4戦終了時)

順位	車番	チーム	ポイント
1	52	埼玉トヨペット Green Brave	68.0
2	86	TOYOTA Team TOM' S SPIRIT	55.5
3	13	ENDLESS SPORTS	53.0
4	95	TEAM SPOON	48.5
5	40	TRACY SPORTS	45.5
6	58	小林自動車レーシングプロジェクト	45.0

※トップ6まで(24台中)

### 服部選手が#86 TOYOTA 86との死闘を制しトップに

予選日に引き続き天気は晴れ。路面温度は50℃超える。決勝は平沼→番場→服部というドライバー順。平沼選手になるべく走ってもらいつつ、タイムロスをも最小限に食い止めようと、近藤新監督が熟慮の末に決めた作戦だ。13時24分、うだるような暑さの中、3時間レースがスタート。平沼選手はライバルとの間をとりつつ、3番手をキープしながら1コーナーへ。1周目を終え、#86 TOYOTA 86に抜かれ4番手。上位グループの中で力強いレースを展開する。その後ひとつ順位を落とすものの、5番手のまま8周目にピットイン。番場選手に交代する。平沼選手は予選時のタイムを約コンマ3秒上回る好走を見せ、昨年より1周多く周回した。中盤から怒涛の追い上げを開始する番場選手。先行する車両を次々とパスし、41周目に早くもトップへ。その後、13周にわたってトップを走行し、54周目にピットイン。服部選手に交代し、タイヤ交換と給油を済ませる。タイヤ交換は予定外の作業だったが、想定して準備を進めていたため、エンジニアは慌てることなく服部選手をコースに送り出した。服部選手は3番手でコースに復帰すると、上位陣のピットインにより2番手に浮上。前を行く#86 TOYOTA 86(蒲生選手)とのマッチレースとなった。2台はテールto ノーズ状態でしばらくバトルを続けるが、76周目、ついに服部選手が蒲生選手を抜き去る。それから7周にわたって追いつがる蒲生選手を抑えきり、4.714秒差でトップチェッカーを受けた。

### VOICE FROM DRIVERS&TEAM PRINCIPAL

全員がそれぞれの仕事を完璧にこなし、勝利をつかむことができました。Aドライバーとしてチームの期待に応えられることができ、すごうれしいです。平沼さんがしっかり走って勝つたのも良かったです。自信を持って残り2レースを戦えます。



(番場 琢選手)

高い気温と路面温度に翻弄された部分もありましたが、うまくいった良かったです。蒲生選手は良いドライバーなので、コース上で抜くのは本当に大変でしたが、バトルを制することができました。ポイントリーダーの座を守りたいと思います。



(服部尚貴選手)

いつもの表彰台とは違う景色で、気分良かったです。我々が普段通りの力を発揮すれば、毎回優勝とチャンピオンを狙えると思っていましたので、これまでやってきたことが正しかったと感じています。ここまで来たらチャンピオンを獲得します。



(平沼貴之選手)

スタッフ一人一人が100%以上の仕事を心がけ、一生懸命やっておかげだと思います。レース終盤は、服部選手がやってくれるはずと心の中で祈っていました。2位の86号車を目標にできたので86号車を抜いて優勝でき、本当に良かったです。



(岩田勝俊チーム代表)



## 埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS

### 協賛各社



株式会社アシスト・ワン



アルパインマーケティング株式会社



EMG マーケティング  
合同会社(モービル1)



株式会社 FM NACK5



株式会社 岡崎巧芸



株式会社カーガラス・JP



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社デンソーセールス



東京純豆腐



トヨタ部品埼玉共販株式会社



トヨタホーム東京株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



株式会社プロジェクト・ミュー

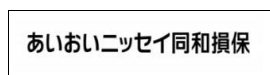


株式会社プロモーション

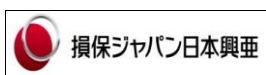


丸和工業株式会社

### 特別協賛各社



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



損害保険ジャパン日本興亜株式会社



東京海上日動火災保険株式会社



三井住友海上火災保険株式会社

※50 音順